

一般住宅での出火原因 例年ワースト1位

こんろからの火災を防ごう

この冬は、ほとんど雨が降らず、空気が乾燥している日々が続きました。昨年中に市内で発生した火災の件数は35件。そのほとんどが、出火原因や予防方法を知ることによって防ぐことができます。これから迎える春は、冬よりも火災の多くなる季節です。安心・安全な生活を送るために、今一度家の中や身の回りを確認しましょう。



「忘れてない? サイフにスマホに火の確認」
2018年度全国統一防火標語

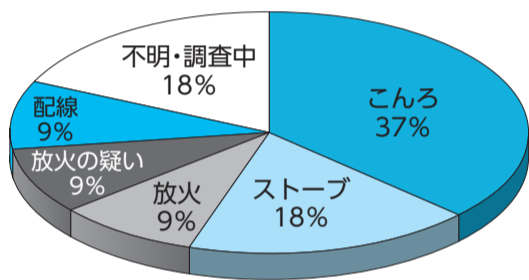
3月1日から7日は
春季全国火災予防運動

建物火災の出火原因 ワースト1位のこんろが約4割

30年中に市内で発生した火災の件数は、35件で、29年中に比べて14件減少しました。

しかし、建物火災だけの件数は、29年中の21件からあまり変化はなく、17件と多く発生しています。一般住宅で起きたものは、11件でその原因の多くが「こんろ」です。全体の4割近くを占め、全国で発生した出火原因の中でも、例年ワースト1位に上がっています。

30年中に起きた住宅火災の出火原因



火災を防ぐためには Siセンサー付きこんろが有効です

10年前までは、こんろを出火原因とする火災の半分以上が天ぷら油によるものでした。20年4月以降には、製造する家庭用ガスこんろ全てのバーナーに「調理油過熱防止装置」「立消え安全装置」の搭載が義務付けられ、さらに業界の自主規制として「消し忘れ消火機能」などを加えたSiセンサー付きこんろが普及したことから、天ぷら油を原因とする火災は減少しました。

しかし、こうした安全装置の搭載が義務付けられてからも、依然として火災がなくなりません。扱う人の不注意がなくならないためです。

調理中は火から目を離さず、その場を離れるときには、必ず火を消しましょう。燃えるものを周りに置かないように注意してください。こまめに掃除をしないと溜まった油に火が燃え移る危険もあります。



安全装置は有効ですが、自分の身を守るのは自分だけです。

自分の服に火が燃え移る 着衣着火にも注意してください

着衣着火とは、着ている衣服に何らかの原因で火がついてしまうことで、全身大やけどを負い死亡してしまうこともあります。料理を作っているときやたばこを吸っているときに、発生することが多いのが特徴です。厚着をする冬場や服装の変わる季節の変わり目に起きやすい傾向があります。すそや袖が広がっている服を着ているときは、火に触れないように気をつけてください。こんろの奥に物を置いたりしないで、鍋の底から炎がはみ出さないように火力を調整してください。

衣服の生地表面の毛羽に火が着き、瞬間的に火が走る「表面フラッシュ現象」にも注意が必要です。綿やレーヨンなどを生地に使っているものに着火しやすいといわれていて、洗濯をすることで、いっそう毛羽立ち、この現象を起こしやすくなることがあります。火は一瞬で消えますが、驚いて持っていた鍋や、やかんを落としてしまいやけどをするなど、2次被害の危険性もあります。

火が接しても、着火しにくい防災製品のラベルの付いているエプロン



▲防災製品はこのラベルが目印

やアームカバーを使用することで予防できます。販売しているお店は、公益財団法人日本防災協会のホームページから検索できます。

住宅火災を防いで 命を守るための7つのポイント

住宅火災によって毎年約1,000人が亡くなっています。その半数が逃げ遅れによるもので、65歳以上の高齢者が7割を占めます。命を守るために、日頃から取り組むことのできる7つのポイントがあります。

- ①寝たばこは、絶対やめる、②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する、③ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す、④逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する、⑤寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する、⑥火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する、⑦お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

3月3日(日)春の火災予防フェスタ

住宅火災を防止し、被害を最小限に抑えるためのイベントを開催します。消防音楽隊による演奏や初期消火体験のほか、車両展示や住宅防火に関するクイズもあります。

クイズ正解者や初期消火体験の参加者には、粗品のプレゼントがあります。

▶日時 3月3日(日)午後1時～3時 ▶場所 フルガーデン八千代

お問い合わせは、
予防課 ☎459-7803へ

3月定例会は2月19日に開会しました

- 3月1日(金)以降の日程 ▼1日(金)産業都市・文教安全常任委員会
- ▼5日(火)～8日(金)予算審査特別委員会 ▼20日(水)総括審議 ※いずれも午前10時から始まりません。
- 本会議と委員会は傍聴できます。傍聴を希望する人は、市役所4階議事事務局で手続きをしてください。▼本会議 当日午前8時30分から会議終了まで受け付け。先着58人 ▼委員会 開催予定時刻30分前から会議終了まで受け付け。各委員会先着10人。受け付け開始の時点で傍聴希望者が10人を超える場合は抽選となります。
- インターネット中継 本会議を市ホームページで生中継します。会議の翌日(市の休日を除く)からは、録画中継で見ることが可能です。詳しくは、議事事務局議事課へ

「ガキ大将の森」キャンプ場の受付開始

野外活動を通じて青少年の健全育成を図ることができる「ガキ大将の森キャンプ場」。六角形のきのこ型宿泊棟には、1棟に子ども約6人が泊れます。バーベキューや飲酒はできません。

▼対象 市内に本拠地がある少年関係団体と引率者。または市内在住で、中学生以下の子どもがいる家族。いずれも、20歳以上の引率者がいること ▼利用期間 7月1日(月)～10月31日(木) ▼利用時間 ①宿泊(一泊のみ) 午後2時～翌日午後1時、②一時利用 午前9時～午後4時(宿泊者が優先。空きがある場合は利用することができます) ▼使用料 無料(薪代は実費) ▼申し込み 電話か直接、青少年課 ☎(481)0306へ。予約後、使用日の1か月前から7日前までに、使用許可申請書と使用計画書を同課窓口へ直接提出してください

「やちよサービス大賞」が決定しました

市内全てのサービス事業者を対象に、自薦・他薦により応募された中から、優れたサービスを提供している事業者を表彰する「やちよサービス大賞」。今回「やちよサービス大賞」「優秀賞」「創業賞」に、次の4事業者が決まりました。詳しくは、八千代商工会議所ホームページをご覧ください。

【やちよサービス大賞】 フィールドヘア(美容室) 【優秀賞】 (株) 大洋自動車整備工場(自動車整備)・(株)ワイシーエス(新聞配達) 【創業賞】 キッズ・パワー(株)(児童発達支援) ▼問い合わせ 同会議所 ☎(483)1771 (商工課)

災害に備えて建築物の維持管理を

3月1日～7日は建築物防災週間です。安心して生活できる空間を確保するには、火災、地震、がけ崩れなどによる建築物の被害を防止しなければなりません。昨年は、台風で屋根・雨樋の飛散や物置の転倒により、近隣の被害が発生しました。災害に備えて建築物の維持管理を行いましょ。市では、建築相談会などを行っています。詳しくは、市ホームページか建築指導課へ。